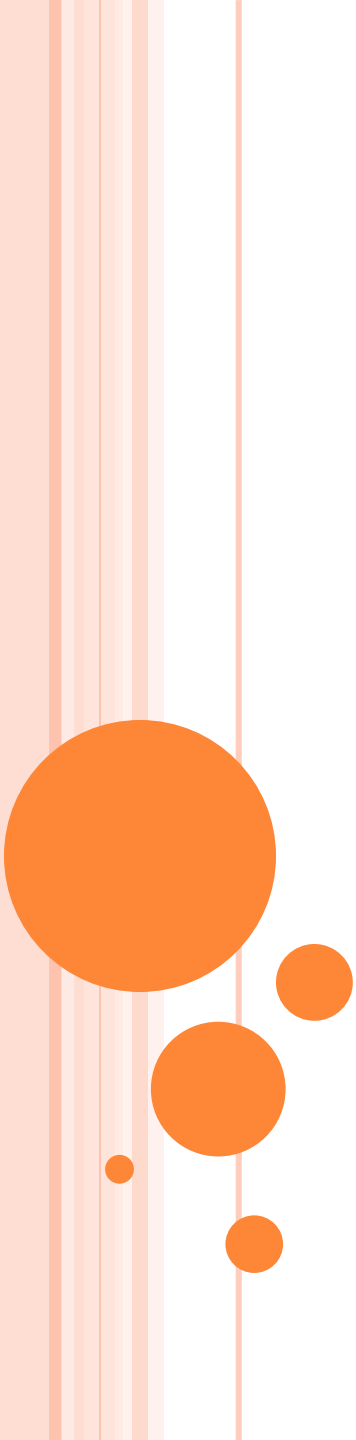




第6次知多市 総合計画

知多市総合計画審議会

第1回会議資料（平成30年5月28日）

知多市のまちづくり

- ・ 総合計画とは
- ・ 背景
- ・ 目標
- ・ 基本的視点

計画策定について

- ・ 進め方
- ・ 構成
- ・ 期間
- ・ スケジュール
- ・ 体制

総合計画とは

- 知多市を将来どのようなまちにしていくのか、という「まちづくりの方向性」を示し、まちづくりに関わるすべての人々が、共に目指すべき方向を向き、進んでいくための羅針盤
- 市の都市計画、福祉、環境、防災、子育てなど幅広い分野における様々な計画の基本となる最上位の計画

第6次総合計画策定の背景（1）

「総合計画」の策定義務廃止
（平成23年地方自治法の改正）



市町村の自主的な取組として策定

知多市議会の議決すべき事件を定める条例
（平成27年6月1日施行）

「議会が議決すべき事件は、総合的かつ計画的な市政の運営を図るために基本構想を策定し、変更し、又は廃止することとする。」

第6次総合計画策定の背景（2）

これまでの総合計画

第1次総合計画（昭和46年～60年）

都市基盤の整備（未来志向）

第2次総合計画（昭和55年～平成2年）

大型プロジェクトの推進（開発志向）

第3次総合計画（平成3年～12年）

市民参加（対話型）

第4次総合計画（平成13年～22年）

市民参加の定着

第5次総合計画（平成23年～32年）

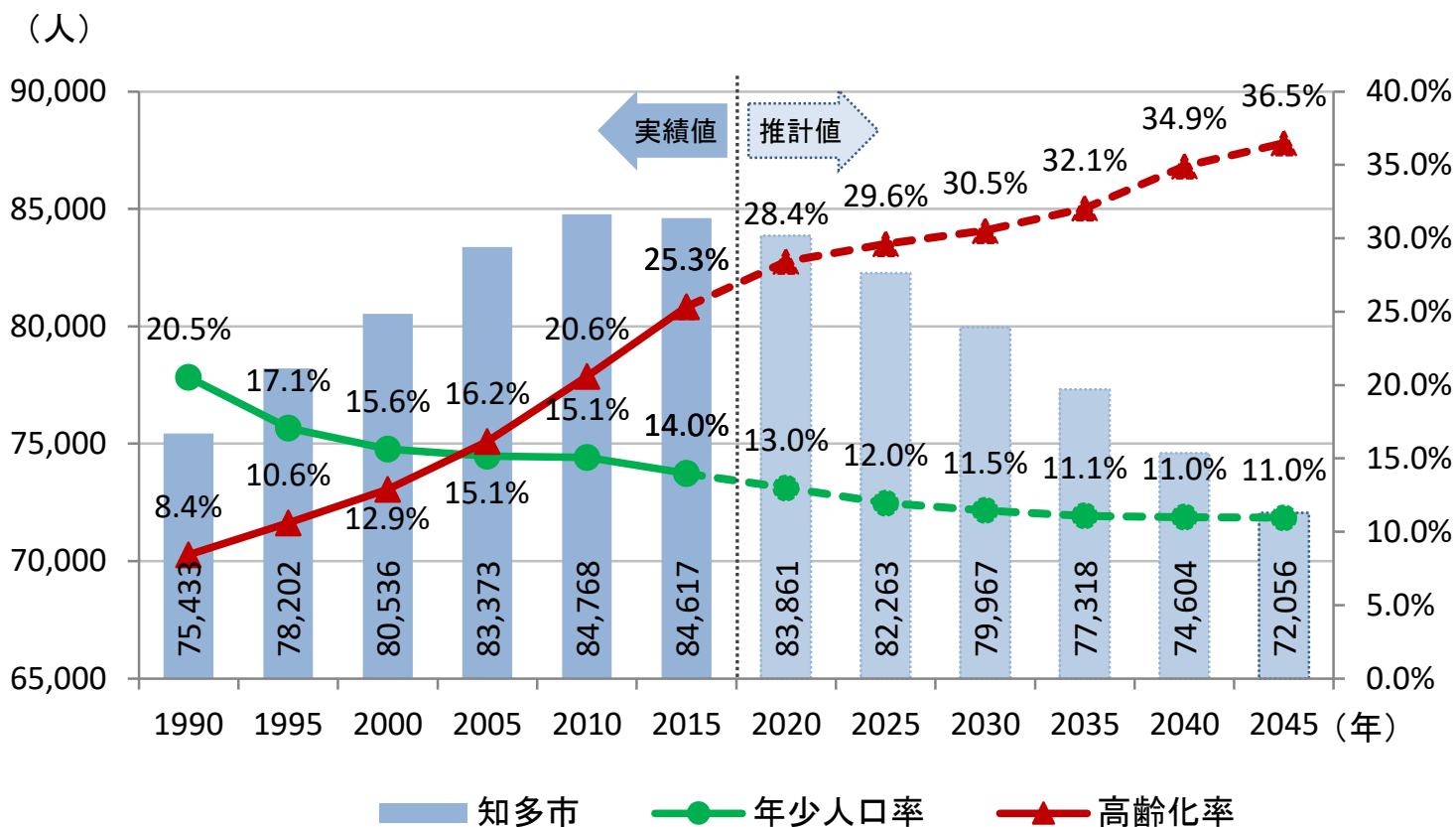
市民協働（自立・つながり・挑戦）

第6次総合計画策定の背景（3）

- ① 人口の減少
- ② 少子高齢化の進行
- ③ 名古屋大都市圏の転換期
（リニア中央新幹線の開業、アジア競技大会等）
- ④ 朝倉駅周辺整備、公共施設再配置計画
- ⑤ 市制施行50周年
（平成32（2020）年度）

第6次総合計画策定の背景（4）

人口推計



出典：国勢調査（総務省）、将来推計人口・世帯数（国立社会保障・人口問題研究所）

第6次総合計画策定の目標（1）

今後、本格的な人口減少・長寿社会に突入し、これまでの方法で地域づくりを行うことは困難

リニア中央新幹線の開業、朝倉駅周辺整備事業など、市内外の大きな環境変化、社会情勢の変化などに柔軟に対応することも求められる



これからの地域づくりの羅針盤・行動指針として
第6次知多市総合計画を策定

第6次総合計画策定の目標（2）

- ① 市民が自分事としてまちづくりに主体的に関わるきっかけづくりとする
- ② 市民のシビックプライド（まちに対する愛着や帰属意識）の醸成
- ③ 市職員のスタッフプライド（まちづくりの推進役としての自覚と責任感）の向上
- ④ 都市としてのブランド力（暮らす、働くまちとしての価値）を高め、市外からも注目を集めることにより、本市へのひとの流れを呼び込む好循環を誘導

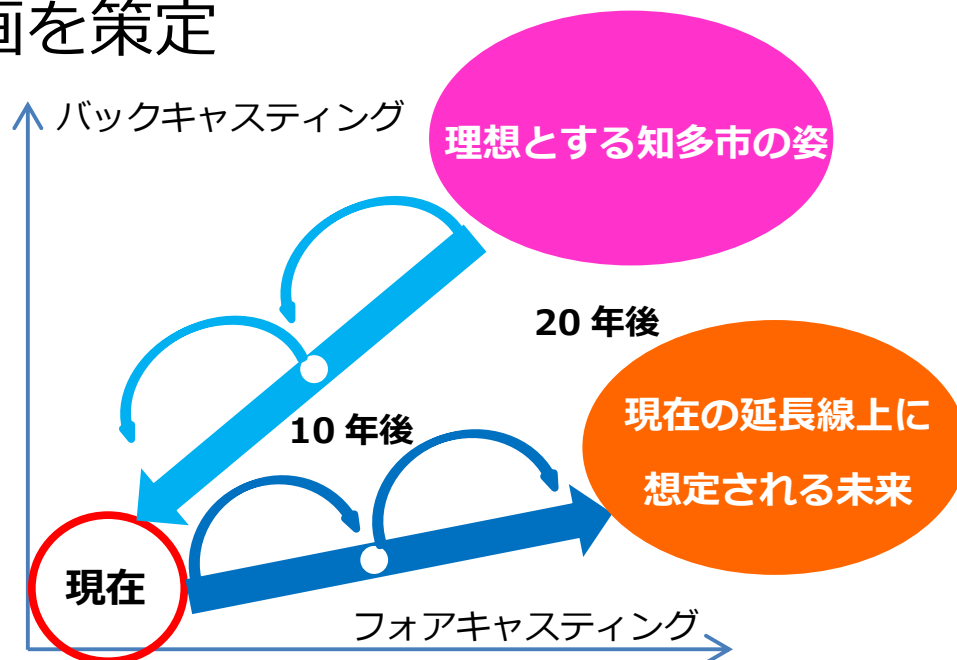
計画策定の基本的視点

- ① 単なる行政計画ではなく、地域全体の公共計画
- ② 行政・市民の行動指針となる実効性のある計画
- ③ ストーリー性を重視し、共感が得られる計画
- ④ 課題解決型ではなく、目標展望型の計画（バックキャストिंग）
- ⑤ 基本構想を実現するための戦略型の計画
- ⑥ 地方創生と連動した計画（「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と統合）

第6次総合計画策定の進め方

○バックキャスティング

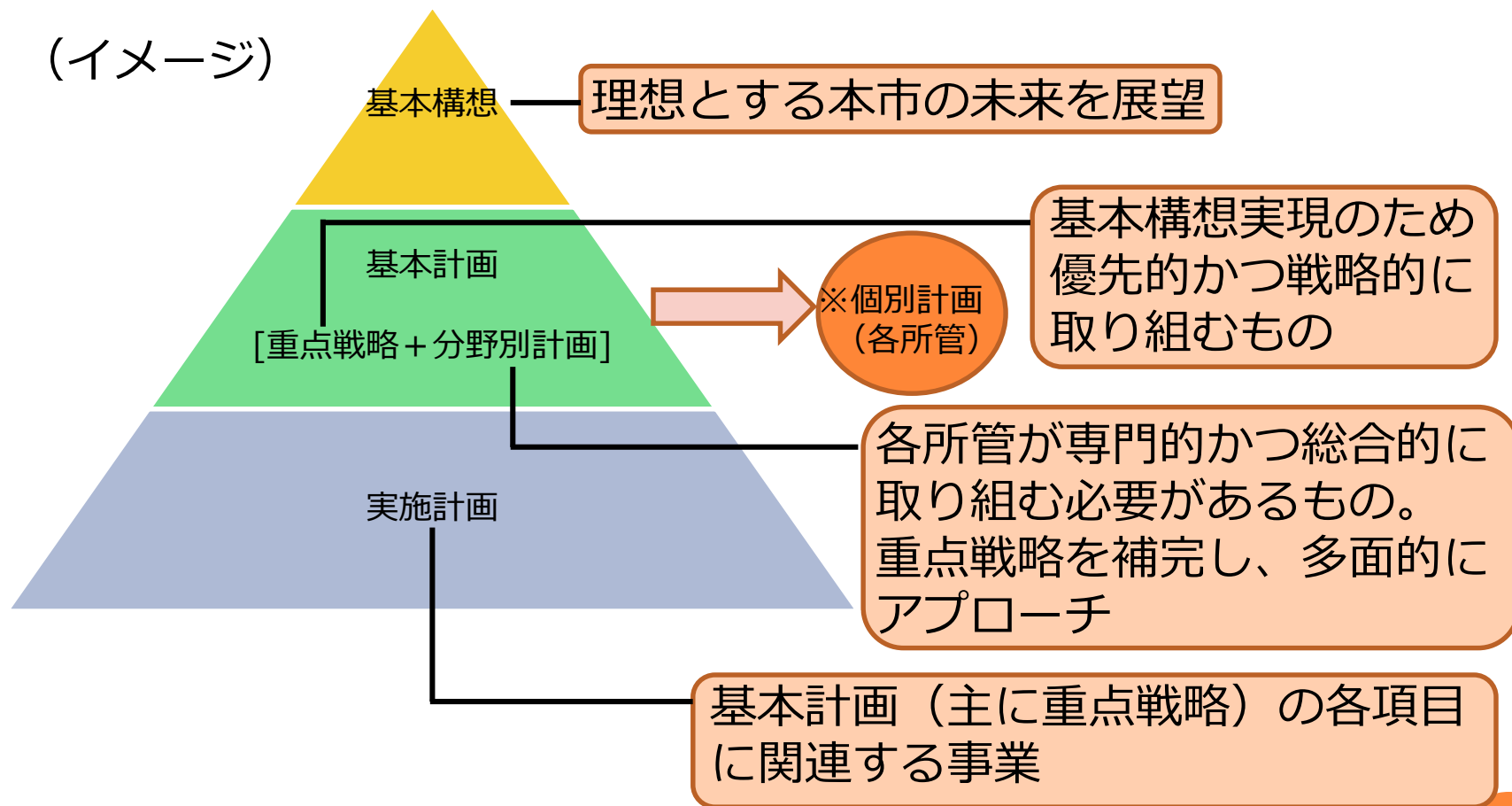
20年後の理想とする知多市の姿を描き、その時点から振り返って今すべきことを考え、10年後の計画を策定



※バックキャスティング・・・未来のある時点に目標を設定し、そこから振り返って今すべきことを考える方法。未来からの発想法と言われる。

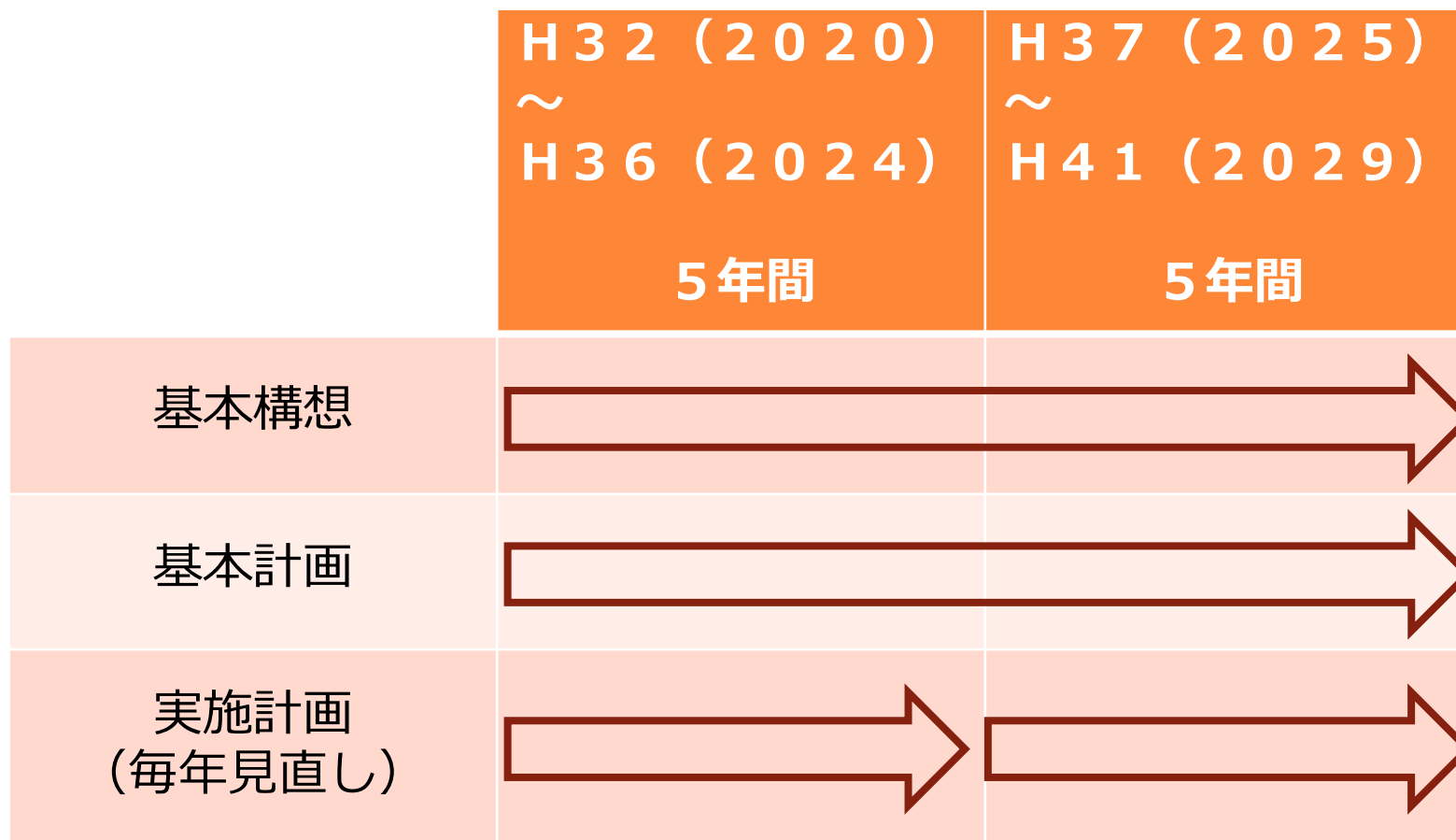
計画の構成（１）

（イメージ）



※具体的な施策・事業については各所管の個別計画と整合をとり、
詳細はそれぞれの計画に委ねる

計画期間



策定スケジュール

	平成29年度						平成30年度												平成31年度											
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
基礎調査				←			→																							
市民アンケート							←		→																					
市民インタビュー							←		→																					
市民ワークショップ									←		→																			
基本構想・基本計画				←																										
総合計画審議会							←																							
パブリックコメント																						←		→						
基本構想議決																														⇄

平成30年度の内容（1）

○ 基礎調査

① 社会情勢の動向整理

リニア中央新幹線開業、アジア競技大会、訪日外国人旅行者の2030年度目標：6,000万人

② 人口推計・財政推計

平成27年国勢調査を基に人口推計。人口推計を踏まえた財政推計

③ 各種統計データ分析

本市の強み、弱みなどの特性を分析

👉 大きな変化を見据えつつ、市の特性などを客観的に分析した上で、理想とする本市の未来を描くことができるよう基礎的な調査を行い、基本構想検討の参考とする

平成30年度の内容（2）

○ 市民アンケート

16歳以上（第5次総合計画では18歳以上）、
3,000人を対象

☞ 漠然とした市民ニーズではなく、マーケティングの視点から市民特性や志向を把握。市民のシビックプライドや市民から見た本市のブランド力を把握

○ 市民インタビュー

本市のまちづくり活動に関わりの深い団体・キーパーソンなどを対象

☞ 本市の魅力向上に寄与している市民主体の活動やその担い手を発掘するとともに、活動活性化の可能性を模索。
本市の魅力資源の発掘

平成30年度の内容（3）

- 市民ワークショップ（未来にツナグ会議）
3回開催。参加者は広報・ホームページでの募集に加え、
市民アンケート対象者からも募集

☞ これまで市民参画プログラムに参加したことがない市民も含め、幅広い層の市民のまちづくり活動のきっかけづくり。市の魅力資源の検討を行い、市民が幸せになるストーリーを描く

平成30年度の内容（4）

- 基本構想・基本計画

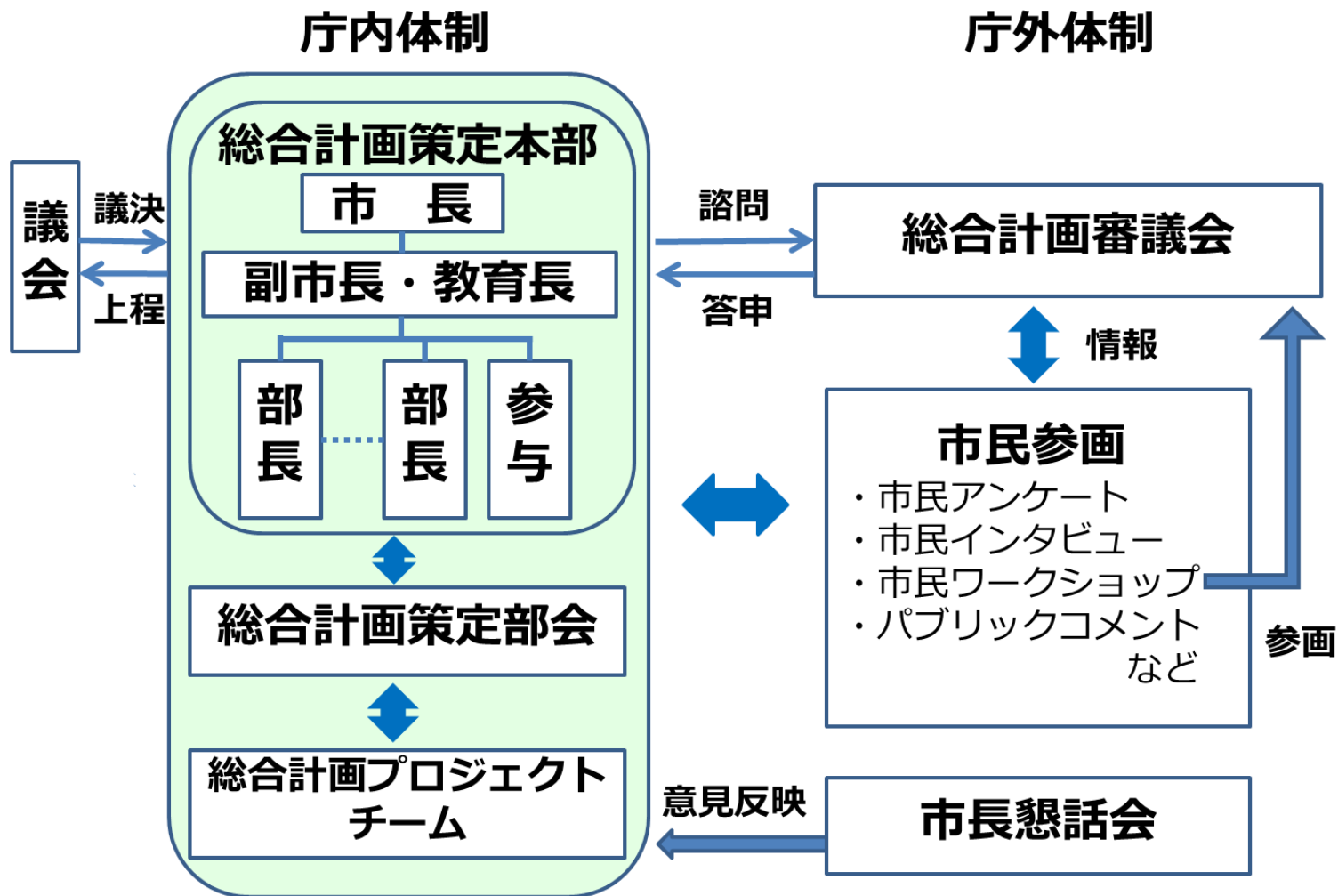
市民参画プログラムの結果などをもとに、若手職員を中心とする総合計画プロジェクトチームが主体となって、基本構想、基本計画（重点戦略）を検討
⇒議会で進捗報告

- 総合計画審議会

4回程度（予定）開催。

審議会の委員として市民ワークショップ参加者を2名選任
⇒市民ワークショップの結果を計画に反映させる過程を共有し、シビックプライドの醸成を図る

策定体制（１）



策定体制（２）

- 総合計画審議会について
平成３０年度 主な議題（予定）

5月

- 第１回 委員委嘱、諮問、策定方針

9月

- 第２回 まちづくりの方向性

11月

- 第３回 基本構想の検討

2月

- 第４回 基本構想、基本計画（重点戦略）の検討

策定体制（３）

- 総合計画審議会について
平成31年度 主な議題（予定）

4月

- 第5回 基本計画（重点戦略）の検討

7月

- 第6回 基本計画（分野別計画）の検討

9月

- 第7回 計画全体のとりまとめ

11月

- 第8回 答申

策定体制（４）

- 総合計画プロジェクトチームについて
 - ・ 16名（若手職員中心、各部から１～２名）
 - ・ 主に基本構想について検討
（各所管・各分野ごとの施策提案などをするのではなく、
知多市の理想の未来について討論）
 - ・ 総合計画学習講座や自治体経営シミュレーションゲームなどにより、総合計画への理解を深め、施策の検討能力を培う
 - ・ 学習し、理解を深め、徹底検討することで、スタッフプライドを育む